



大きくなろう 強くなろう 幸せになろう

輝け角鹿

令和4年5月18日

校長室通信

敦賀市立角鹿小中学校

天筒山の稜線が新緑で彩られ、緑の色彩の豊かさに目が潤う季節となりました。野に咲く花も、色とりどりの美しさを添えてくれています。

令和4年度が始まって1ヶ月が経過しました。子どもたちは、新しい学年になり、新しい「なかま」とともに新しい学級をつくっていています。学年目標や学級目標も決まり、様々な活動にチャレンジしようとしているところです。

登校時、お母さんの手から離れづらそうにしていた小学校1年生も、少しずつ自分の足で歩み出すことができるようになってきました。子どもの「自分の力で育つ姿」を見る思っています。これもひとえに、ご家族のみなさまの励ましやお力添えがあるからこそその姿なのだろうと思ひながら、玄関に入っていく小さな後ろ姿を見届ける毎日です。

with コロナ ～ 可能な限り教育活動の充実を ～

新型コロナウイルス感染症はGWを機に、県内でも感染者が増加しており、「福井県感染拡大警報」が5月29日（日）まで延長されることとなりました。

本校でも、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じてまいります。本年度は、感染予防対策を講じながらも、可能な限り教育活動を充実させたいと考えています。感染拡大警報発令中は異学年交流を取りやめるなど、感染状況を見極め、対策を取りつつ、できることを可能な限り実現できるようにしていきたいと考えています。

ご家庭におかれましても感染対策にご協力いただき、感染拡大予防に協力していただいていますことに、厚くお礼申し上げます。また、みなさまが冷静に正しく対応してくださっており、差別や偏見、誹謗中傷につながるような情報発信がないことにも感謝しております。今後も、細心の注意を払い、情報共有を密にしながら、感染拡大を防いでいきたいと思ひます。

「一人一人を大切にしよう学校」となるように…

さて、今年度の学校教育目標「これからの社会をたくましく生きる力を持つ児童生徒の育成」と、めざす児童生徒像「大きくなろう 強くなろう 幸せになろう」の実現に向け、「令和4年度 スクールプラン」を作成いたしました。多少難しい専門用語もありますが、「小学校高学年の児童のみなさんが理解できるように」表現したつもりです。裏面に掲載しましたので、ご家族でご覧いただくと幸いです。

特に大切にしたいことは、次の3点です。「めざす学校像」としました。

- 1 一人一人の「ちがい」を認め合い、互いを「大切」にし合う学校
- 2 「わかった」「できた」を実感でき、楽しく学び合う学校
- 3 失敗から学び、より良くなろうと「チャレンジ」し合う学校



子どもたちはまだ未熟ではありますが、それぞれに人格を持った大切な存在です。ありのままの子どもを認めることを大切にしていきます。その上で、自分で考え自分で判断し、行動できる子どもたちに育ててほしいと考えています。そのためにも、失敗経験の中から学び、豊かにたくましく生きようとする姿を、長い目で見守り育てていく学校でありたいと思ひます。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

敦賀市教育目標

ふるさと敦賀を愛し、知性に富み、心豊かで、健康な人の育成

＜学校教育目標＞

これからの社会をたくましく生きる力を持つ児童生徒の育成

敦賀市「知・徳・体」令和プラン

知：学びを通して考える力
徳：内面を豊かにする力
体：たくましく生きる力
一人と協働する力

めざす学校像

一人一人の「ちがい」を認め合い、互いを「大切」にし合う学校
「わかった」「できた」を実感でき、楽しく学び合う学校
失敗から学び、より良くなろうと「チャレンジ」し合う学校

輝け角鹿

めざす児童生徒像

大きくなろう (広く豊かな心と知性のある子ども)
強くなろう (強靱な身体と精神を持つ子ども)
幸せになろう (夢や希望を持ち、その実現に向かう子ども)



めざす教師像

子どもの幸せを願い、共に歩む教師
自分事として受け止め、学び続ける教師
つながり、引き出し、高め合う教師

重点目標

未来に向けて協働し 共生する社会性の育成

- ◎互いの違いを認め合い、尊重し高め合う集団づくり
◎しなやかで強い心の育成

未来につながる 確かな学力の充実

- ◎ツールの活用能力向上と、主体的、対話的で深い学びの実現
◎楽しく学び、力がつく授業の構築

未来を生き抜く 心身の育成と健康の増進

- ◎安心・安全な学校づくり
◎命を守り尊ぶ生き方への共感
◎心身の健康と運動を楽しむ素地形成

地域と共に未来に向かう 社会に開かれた学校づくり

- ◎学びのつながりを実感し共有できるカリキュラムマネジメント
◎信頼、協働、連携による学校経営

具体的な取組

- ◎小中一貫したポジティブ教育の推進
・仲間同士が認め合い支え合う集団づくりを行う「ピアサポート活動」の充実
・逆境に負けない心を育てる「レジリエンス教育」の充実
◎思いやりの心の育成
・不登校の未然防止につながる「明日も通いたくなる」魅力的な学校づくり
・いじめの未然防止につながる「一人一人を大切に」人権教育の推進
◎心のよりどころづくり
・定期的なアンケートと相談体制による「聴いてもらえる」安心感の醸成
・スクールカウンセラーと連携した「大切にされている感」の醸成
◎自己肯定感の育成
・「自分には良いところがある」を実感できる経験の構築と承認システムづくり

- ◎学ぶ楽しさを感じられる授業づくり
・ICTをはじめとするツールの活用能力向上と、主体的に学ぶ姿勢の育成
・協働して学ぶことによる深い学びの実現と、学ぶ楽しさの共有
・児童生徒が「主語」となる学習を成立させるためのファシリテート力育成
・UDの視点と、個別最適化の学びの視点に立った「わかる」授業の構築
◎読書活動の充実
・学校図書館の活用や家庭読書の推進による「読書好き」な子の育成
・正しく読み解くメディアリテラシーの形成
◎失敗から学んでこそ本物
・うまくいかないことや失敗したことから学ぶ自己修正力の育成
・確かな学力を築く家庭学習の充実

- ◎安全安心な学校の構築
・「自分の命は自分で守る」という安全意識の涵養と危機回避能力の育成
◎心のものさしづくり
・健康的で自律的な生活習慣の定着と能動的な態度の育成
・規範意識の涵養と自ら考え行動しようとする生きる力の育成
・多様な価値の理解と、寛容な心の育成
・心をつなぐあいさつ運動の推進と、豊かな人間関係の構築
◎心身の健康と体力づくり
・身体を動かす楽しさを味わわせる体育の授業やクラブ活動・部活動の推進
・あらゆる運動機会を通じた基礎体力の向上と運動習慣の定着
・集会、自然体験、福祉活動などの、さまざまな体験活動の充実

- ◎家庭・地域との信頼関係構築と連携
・計画的な学校公開や情報発信の充実
・健全なネット利用の基礎を培う情報モラル教育の推進
◎魅力ある学校づくりの推進
・個に目をかけ大切にしようとする風土の醸成
・「つながり」や「かかわり」を大切にする異学年交流活動の充実
・学びのつながりを意識した小中一貫カリキュラムの実践
・施設一体型小中一貫教育の推進と、保幼小、中高の連携の充実
◎生き方を育むふるさと学習・キャリア学習の推進
・地域をステージとし、地域とともに育む「ふるさとを愛する心」の実践
・夢を育み、生き方をデザインするキャリア教育の実践

成果指標

- ◎「自分には良いところがある」 →80%以上
◎「失敗して嫌になっても、あきらめずにがんばる」 →90%以上
◎「まちがいをおそれず、安心して発言できる学級」 →90%以上

- ◎「教科の学習が好き」 →90%以上
◎「教科の学習がわかる」 →90%以上
◎「それぞれの意見や考えを認め合える学級」 →90%以上
◎「すぐに解けない問題でも、ねばり強く解こうとしている」 →90%以上

- ◎「いじめ解消」 →100%
◎「不登校新規発生」 →0件
◎「学校が楽しい」 →90%以上
◎「ありがとうを伝え合う」 →90%以上
◎「人を大切にしている」 →90%以上
◎「前向きに取り組む」 →90%以上

- ◎「学校だより」 →年間10回以上発行
◎「学校HP」 →毎週更新
◎「地域の良さに気づき、地域とつながり関わろうとする」 →90%以上
◎「まわりをよりよくなる」 →90%以上
◎「支えられて生きている」 →90%以上

業務改善のための取組

- ◎校務のICT化による情報伝達、事務処理の効率化と会議の縮減
◎日課時程、部活動時間の見直し、部活動顧問の複数化による放課後時間の確保
◎メンタルヘルスマネジメント（セルフケア、ラインによるケアの充実と相談体制の確立）

- ◎学校運営支援員やボランティア等の人材活用
◎学校行事、学年行事等の縮減と統合、評価方法の改善と改革
→ ワークライフバランスの実現 と 超過勤務4.5時間への挑戦